

論 説
石油サプライチェーンを形成する『精製部門』、『流通部門』の生産性向上や、ガソリンなどの石油製品に係る公正・透明な市場形成と取引環境の整備などを検討する資源エネルギー庁の石油精製・流通研究会が10月24日に初会合を開き、来年2月にも検討結果がまとまる。研究会に与えられたミッションは①石油サプライチェーンの生産性向上(製油所・油槽所・SSなど)②公正・透明な市場形成と取引環境の整備(機制SSS過疎地対策等だ)。総合エネルギー企業化などを課題として挙げた。石油供給の最

題として挙げた。石油供給の最

SSSを維持・強化する議論に

設備の統廃合や物流・販売の効率化などを進めるによつて、製油所から油槽所・SSに至るサプライチェーンのための再投資が必要な収益確保に向

け、個々の企業による自発的な自律的な対応策のあり方や、

能とする政策支援のあり方につ

いて議論していく。製油所の競争力を高めることで、個々の企業が自らのサプライチェーンの強化に取り組むことで、資源エネルギーの供給を安定的に確保することができる。また、SSSの維持・強化は、資源エネルギーの供給を安定的に確保するための重要な柱となる。

一方で、競争力強化や公正・

透明な競争環境整備といった大きな課題・問題の陰に隠れがちだが、災害時や過疎地・離島などへの供給確保というビジネス

リスクがある。その供給を支えているのはISS-1データー

ベース・自助努力だけでは対応困難なミッションがあることも忘れてはならない。その供給を

保証するためには、資源エネルギーの供給を支える中小石油販売業者であり、安定供給に支障

をきたすこれまで以上のSSS減少に

対応策を検討していく。業転価

額止めをかける対策が必須だ。

みるべく10月最終週に月末調整がされた系列もあった模様で、実質的な値動きが把握しにくいものの前週比で昭和EMGの3社は横ばい

が0・5円と各値上げした一方JX出光、

と最近の大気状況に関する環境省の説明に

言があったことが明らかにな

った。②光化学オキシダン

トは、これも随分改善

した一方PM2・5は、環境基準の達

成率のみならずPM2・5が4円、コスモ

シェルが4円、ガソリンは5円と各値上げされ、今週の値動きが注目される。

北海道 安値水準続き消費者不安減る

北海道・灯油懸では地域間格差

北海道・灯油

